

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・子ども同士のトラブルや気持ちの高ぶりが見られた時に落ち着くことができるよう、集団療育室から静養室へ移動したり、落ち着けるグッズを用意したりして対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			・配置人数としては適切かもしれないが、個々に対応する時に人数不足を感じる時があるので、スタッフ同士声をかけあっていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		・職員間で情報を共有していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3		・今回のアンケートを踏まえ、できる限り業務改善に向かう予定。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		・今回のアンケートよりインスタグラムで公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・職員間で連携し、研修参加の機会を設けられるようにしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・保護者と面談を行い、アセスメントを元に個別支援計画を作成し実施している。 ・アセスメントが十分に出来ていない事もある。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1	・保護者の方から、支援計画に基づいたお子様の成長と課題を聞き取っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3		・次の日にある事もある。 ・一日の終わりに振り返り等を行っているが、時間を十分に設けられず翌日の朝に伝える時もある。 ・勤務形態の都合上参加できない職員に対しても申し送りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3		・現在は該当者がいないが、今後必要に応じて検討する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		・保護者様から要望があれば何うことも検討する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		・現時点では該当するお子様が居ないが、今後必要に応じて検討する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		・職員の保育士が「令和6年度高松市発達障がい児・者サポーター養成講座」を受講し、そこでの学びや情報については職員間でも共有している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	3	・今後、どのような交流の仕方が子供たちにとって負担がないかなどを慎重に検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	4	・機会があれば積極的に参加していく。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・保護者向けに活動記録を公開して伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	3	・必要に応じて開催の検討をする。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・契約時に必ず行っている。
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・依頼があれば随時対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1	・必ずしも交流を望んでおられる方ばかりではないため、慎重に検討する。 ・親子参加イベントの企画など、保護者同士が交流できる場を設けていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2		・保護者様より苦情・相談があった際は管理者に報告の上迅速で適切な対応を心掛けていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	2	・定期的に会報等は発行出来ていないが、SNSを利用して活動の概要等を発信。行事予定や日々の活動の様子はHUGで保護者と共有している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			・鍵付きのキャビネットで保管し、取り扱いに注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・お子様の特性に配慮し、視覚的ツールを使い、想いの表出がしやすいように配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	1	・今後地域社会とのつながりが図れるような計画を練っていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		・各種マニュアルは策定しているが、保護者周知に関しては共有出来ていない部分もある為、再度全体への周知を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・定期的に避難訓練を実施し、職員は災害時に備え避難経路の確認をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・虐待防止対策として指針を定め、念に一度、虐待防止に関する研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		・身体拘束指針を定め、重要事項説明書にも記載し、契約時に保護者に説明を実施。また年に一度、身体拘束に関する研修を実施している。

	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	2	・初回アセスメント時に必ず確認し、職員に周知した上で対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・事例集は作成していないが、ヒヤリハットの報告は事業所内で共有、ファイルを置いて閲覧できるようにしている。